支援付き就労

就労準備支援事業・認定就労訓練事業

事例集

名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター金山

目　次

事例1
「ハンディに対するサポートを受けながら就労を目指したい」
就 業 先：**足立建設株式会社**
事業内容：総合建設業 …… 1

事例2
「まずは社会参加をして、少しずつ慣らしながら就労を目指したい」
就 業 先：株式会社　創円
事業内容　精密板金加工 …… 3

事例3
「スモールステップで確実に　自信をつけながら就労を目指したい」
就 業 先：**社会福祉法人緑生福祉会　特別養護老人ホーム南生苑**
事業内容：高齢者福祉サービス …… 5

事例4
「在宅介護の時間を大切にしながら、自分のペースで出来る就労を目指したい」
就 業 先：**名古屋キリスト教社会館　デイサービス友**
事業内容：高齢者福祉サービス …… 7

事例5
「働きやすく、アットホームな居心地の良い職場を」
就 業 先：**太陽電化工業株式会社**
事業内容：自動車部品を主体とした電気めっき加工 …… 9

- 名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター金山 …… 11
- 金山センターのご紹介 …… 12

はじめに

本事例集は、生活困窮者自立支援法における「「支援付き就労」の機会を提供する事業（就労準備支援事業・認定就労訓練事業)」をとおして、事業の利用者はもとより、生活困窮者自立支援機関である当センターと受入れの事業所の具体的な取り組みをまとめたものです。

この事業の対象者（以下「相談者」）は、長期ブランク等により働きたいけど働けない、働き続けることへの不安や悩み等、働きづらさを抱えた方となり、その困難や背景の要因は多様です。

一方で、「一定の配慮と支援」があれば、働くことが可能な方も存在しており、多様な就労形態としての新しい就労支援の「か・た・ち」の必要性が高まっています。

当センターでは、この新しい就労支援を推進しており、

相談者の

か 可能性 を広げるために、

た 多　様 な就労機会の拡大を

ち 地　域 における新たなつながりづくり

として展開しています。

相談者の状況に合せたステップアップをすることで、最終的に一般就労につながることを目標としていますが、就労体験・訓練事業所における多様な就労機会の提供により、相談者は新たな居場所を見つけ、社会とのつながりや自己実現を図ることが可能となります。

ぜひ、当事例集を各事業所等関係各位において、「支援付き就労」を通じた多様な人材の受入れを図る上での参考資料として、ご活用いただけたら幸いです。

最後に、ご協力いただきました相談者の皆様、企業・事業所関係者各位に心から感謝申し上げます。

平成31年１月

名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター金山

事例
01

ハンディに対するサポートを受けながら就労を目指したい

就業者の声

足立建設に就職してみて、最初の時は緊張していて、仕事がやりづらかったのですが、今では仕事にも慣れて、前にガードマンの仕事をやっていた時よりも、建設会社の仕事の方が頑張った気持ちになっています。今後の目標は、もっともっと仕事を覚えて仕事を続けていきたいと思います。

10代　男性

就業先

足立建設株式会社

事業内容：総合建設業
採用担当者：足立真也様

弊社は、公共土木工事を主体に名古屋市内を中心にして、建設業を営んでいる会社です。最近は、建設業のイメージアップを図るべく社会貢献や働き方改革に真剣に取り組んでいるところです。今回の採用は、その意味合いにおいても貴重な経験であります。また、今後の彼の活躍に期待をしております。

採用担当：足立真也様

センターとの関わり

就労意欲はあるものの、一般就労において作業能力や理解力に課題があり、そういった「ハンディに対するサポートを受けながら就労を目指したい」という本人の希望により認定就労訓練の依頼を受けました。初回の面談では、就労には意欲的であるものの、居住環境など生活面の障壁がある事が分かりました。そこで、本人のハンディの部分の事情をお話した上で、足立建設株式会社（以下「事業所」）にて面接を実施しました。事業所側にも事情を理解していただき、まずは訓練を通して様々なことにチャレンジをし、本人の得手不得手を理解しながら一般就労を目指すという事を目標とし、就労訓練を開始しました。

訓練開始後、生活面での障壁に対しては、福祉事務所、事業所、センターが解決に向け連携協力し進めてきました。

就労訓練中の様子　社員の「一緒に働く仲間」という気持ちが就労者のモチベーションとなる

事業所での訓練は、工事現場で使用する備品の管理（サビの補修等）から始めました。初めての作業で最初は順番も覚えられない状況でしたが、彼のハンディの部分を社員の方全員が理解してくださっていた為、丁寧に何度も説明をしていただきました。ゆっくりと彼のペースで仕事を覚え、3ヶ月間の訓練の中で、測量の補助業務、伝票整理、社内清掃など、出来る仕事を徐々に広げていきました。社員の方が彼を「一緒に働く仲間」として快く受け入れ、支えてくださった事が彼のモチベーションとなり、訓練期間が終わった後も継続して就労を続けられています。

現在の様子　現場での効率化、事務所では常に整頓された職場環境を実現

主に現場内における測量作業の補助や軽作業等。面積測量や水準測量の補助、現場内の清掃作業やPR用紙の配布などをしてもらっています。2人以上必要な作業において、自由に配置することが出来る人員を確保出来たことによって手待ち時間が減り、効率化を図ることが出来ています。

その他として事務所内の不要書類の処分作業や事務軽作業など。現場職や事務職の古い書類や伝票等の仕分け及び処分作業をしてもらっています。今までは空いた時間にしか出来なかった作業ですが、恒常的にその作業をしてもらうことによって、常に整頓された職場環境が実現しました。

（事業所 担当者様）

担当者所感　ハンディを抱える方への「支援付き就労」

企業様にとってハンディを抱えた方を雇用する時に、どういった配慮をしたら良いのか、私生活についての問題にはどう対処したら良いのかと、「ハンディ」を汲み取っていくのはとても大変な事だと思います。実際にこのケースでも、就労に関しての問題もありましたが、私生活の面での課題が大きく、専門機関でなければ解決できないような生活問題も起こり得る状況にありました。就労訓練中には事業所にも協力を頂きながらセンターと専門機関で検討会議を行い、解決に向けて連携しながら進めてきました。こういった状況の中で一般就労まで続ける事が出来たのは、事業所の理解と配慮があったからこそだと感じます。

就労支援推進員　麻生　依里

事例
02

まずは社会参加をして、少しずつ慣らしながら就労を目指したい

就業者の声

勇気を出してここに来て良かったです。とても楽しいです。

40代　男性

就業先

株式会社　創円

事業内容：精密板金加工
採用担当者：代表取締役 服部太志様

私たちは名古屋市港区で薄板の精密板金を中心とした金属加工をしております。「製造を創造する。私たちは豊かな未来へ、ものづくりの可能性を追求し、挑戦していく事で社会に貢献する製造創造企業を目指します」という経営理念を掲げ、社会に役立つヒト、モノ、コト創りを常に追求し続けております。

採用担当：服部太志様

センターとの関わり

就労に対して不安が強い傾向があり、25年以上未就労の状況にありました。「まずは社会参加をして、少しずつ慣らしながら就労を目指したい」という本人の希望により認定就労訓練の依頼を受けました。初回の面談では支援員と目を合わせられない状態で、何度も汗を拭う仕草を繰り返すなど強い緊張と不安を感じました。そこで、まずは一般企業での就労ではなく、社会参加をする事を第１の目標とし、港区にある港つぼみ作業所の受入れにより、10日間の就労訓練を行いました。その訓練の中で作業能力を認められた事で自信をつけ、一般企業での就労訓練を前向きに考えられるようになりました。約２週間の訓練終了後、「人の少ない現場」「ひとりでモクモクと行える作業」という本人の希望を事業所に伝え、理解を得たうえで就労訓練を開始しました。

港つぼみ作業所での就労訓練　経験を自信に変える

訓練期間は月曜から金曜までを２週間で合計10日間、本人と相談し午後の時間で実施しました。作業内容は、ゴム部品のバリ取り・紙箱の組み立て折り・割り箸の袋入れを体験していただきました。作業工程ごとに分担している方もいますが、作業についての疑問はすぐにスタッフに確認して覚え、すべての行程をスムーズに取り組むことができました。休憩時間は1人になる時間も作っていましたが、日数が経つにつれ慣れてきて、スタッフとの会話も楽しむようになりました。当社での経験を自信に変え、その後一般就労を実現されたとお聞きし嬉しく思っています。

社会福祉法人明　港つぼみ作業所　施設長　若杉昌範様

就労訓練　作業の幅を広げて自分に合う仕事を

訓練は、金属部品の油分をアルコールで拭き取るという作業から始めました。初めての立ち作業で最初は戸惑いを隠せない状態でしたが、「様々な作業にチャレンジをしよう」と作業の幅を広げて頂いた事で、自分に合った仕事を見つけることができました。社員の方の配慮も温かく、「とても頼りになる」「来てもらえると助かる」など本人の自信につながる声掛けをいただき、とても大切に受入れていただけた事で「仕事が楽しい」と本人も活き活きと働く事ができるようになりました。

現在は、宅配ポストの組立てや加工準備など出来る仕事をどんどん増やしている状況です。どんな仕事にも一生懸命に取り組み、丁寧で正確な作業をされるため、高い評価をいただいています。今後はもう少し日数を増やしていきながら、さらにステップアップする事を目標としています。

担当者所感

「常に寄り添う」姿勢で支援

彼は、働きたい気持ちはあるのに不安が強いために一歩が踏み出せない状態で、就労に対して焦る気持ち、自分を責める気持ちの中で悩んでいました。面談を重ねながら「常に寄り添う」姿勢で支援し、どんな事ができるかも分からない白紙の状態から、職場見学に同行し、職場体験を繰り返しながら支援を進めていきました。その中で、人と接することにも慣れ、温かく認めてくれる人たちに出会ったことで、本人の中で少しずつ不安感が減少し、自信へとつながっていきました。訓練を始めて３か月後には、「もう来なくて大丈夫」ということが言えるほど安定した第一歩を踏み出すことができました。

就労支援推進員　麻生　依里

事例
03

スモールステップで確実に自信を付けながら就労を目指したい

就業者の声

訓練前は、期待と不安でいっぱいでしたが、始めてからは仕事を覚えるのもこなすのも楽しく、充実した日々でした。今は仕事にも慣れ、働き始めた頃に比べたら利用者の方々とも会話が弾み、少しは成長できたと思います。まだまだ自信が持てない時もありますが、一歩ずつ前に進んでいきたいです。　20代　女性

就業先

社会福祉法人緑生福祉会　特別養護老人ホーム南生苑

事業内容：高齢者福祉サービス
採用担当者：苑長 阿閉芳信様

名古屋市緑区、南区で高齢者福祉事業を運営している法人です。特別養護老人ホームでは、入所者の方に笑顔に満ちた生活を送って頂けるように支援しています。「やすらぎ・やさしさ・活力・自由・清潔」を理念とし、職員一人ひとりが役割を果たし、社会に貢献できるように努めています。

採用担当：阿閉芳信様

センターとの関わり

高校を卒業してから働いたことがなく、自分に対して自信を持てない状態が続いていました。他人に対してどう声掛けをしたら良いのか、会話はどの様にしたら良いのか、そういった不安の中で悩んでいました。センター職員と面談を重ねる中で、自分の気持ちを言葉にする練習をしたり、街頭のボランティア活動やパソコン講座を受講したりと、他人と接する時間を少しずつ増やしていきました。本人が就労を考え始めた時に、「人の名前を覚えられるか」「複数の仕事を覚えられるか」「自分から質問が出来るか」という事に不安を感じていました。そこで事業所にこの内容を伝え、「指示担当者は１名」「１回の指示で作業は１つ」「作業途中での確認の声掛け」という配慮により、就労訓練の利用を開始しました。

就労訓練中の様子　知識を深めて前向きな行動になる

訓練は１日４時間半、雇用契約を結ばない「非雇用型訓練」から始めました。作業内容は、施設で使うエプロンやシーツなどの洗濯と畳み、施設内フロアの清掃、地域交流企画で折り紙製作の手伝い等を３日間行いました。施設職員からの優しく丁寧な声掛けや仕事内容の説明により、本人も「とても楽しかった。もっと続けていきたい」という前向きな気持ちになり、継続して雇用契約を結ぶ「雇用型訓練」にて３か月間の訓練を行いました。訓練中に、認知症について学んでみたいという本人からの希望があり、「認知症サポーター養成講座」を受講し知識を深めたことや訓練の中で様々な仕事を経験し自信をつけられたことで、本人の達成度もどんどん向上していきました。

現在の様子　少しずつ人と接する機会を増やしていく

今年度の契約更新にあたり、本人より「もう少し時間を増やしてほしい」と申し出があり、現在は10時から16時50分の勤務で週３～４日働いています。採用当初は、自己評価が低く、不安が強かったこともあり、人との接触が少ない場所を選んで、清掃などの業務に従事してもらいました。しかし、今では表情も良く挨拶もしっかりとでき、1階のロビーや短期入所のフロアなど様々な人と接する場所でも活躍しています。廊下・居室・トイレの清掃やシーツ交換、食事の配膳・下膳などが主な仕事ですが、自ら職員に次の仕事の確認をし、行動していただけています。利用者様からの声掛けにも適切に対応でき、今後の活躍が楽しみです。

（事業所　担当者様）

担当者所感

社会の中で役割を持つ安心感と自己肯定感の回復を得る

家の中で大半を過ごしていた状態から、少しずつ外に出る練習をし、自分の気持ちを表現する事や他人と接する事を学び、職場見学と体験をし、一般就労する。その流れに時間は必要でしたが、スモールステップで確実に一歩ずつ自信を付けながら進めていきました。他人から「ありがとう」と言ってもらえる事、社会の役に立っているという安心感、そういった環境の中で彼女は自己肯定感を得ることができたと思います。

現在は、センターの「くらサポサロン」にも参加し、他の参加者とも積極的に交流されています。社会参加にも意欲的です。

就労支援推進員　麻生　依里

事例
04

在宅介護の時間を大切にしながら、自分のペースで出来る就労を目指したい

就業者の声

母親を在宅で介護する中で、働きたい気持ちはあっても働けるか自信がなく、不安な日々を過ごしながら「働くきっかけ」を探していました。いきなりの就労ではなく、時間を増やしながら働くことのできる就労訓練は、そんな自分にとって「働く意欲」を徐々に高めてくれるとともに、働くことへの自信をつけることができました。50代　男性

就業先

名古屋キリスト教社会館　デイサービス友

事業内容：高齢者福祉サービス
採用担当者：デイサービス友所長 小早川弘江様

「利用者さんの自己決定と選択を尊重し、個人の尊厳に配慮した介護に努めます。」これが事業所方針です。
「一日でも長く、住み慣れた地域やお家で、暮らしていきたい」と願う高齢者の方々の、お手伝いができる、事業所でありたいと思っています。

採用担当：小早川弘江様

センターとの関わり

要介護状態の母親を在宅にて介護しており、ここ４～５年は未就労の状態でした。「在宅介護の時間は大切にしながら、空いた時間で何か出来る仕事があれば短時間から始めてみたい」というご希望があり、認定就労訓練の依頼を受けました。就労意欲は高いものの、他者との会話が苦手という不安があったため、まずはセンター職員とコミュニケーションの練習をする事から始めました。その後、どんな仕事でもチャレンジしたいという前向きな姿勢で街頭でのボランティア活動に参加されたり、職場見学・体験に取組まれました。様々な現場を体験した結果、介護施設での就労を希望された為、事業所に在宅介護の状況、コミュニケーションに対する不安を伝え、就労訓練を開始しました。

就労訓練中の様子　好きな仕事を短時間から始める

訓練は、デイサービスの浴室、トイレ、フロア清掃という作業内容で1日2時間から始めました。お掃除好きという事もあり、とても丁寧で一生懸命に作業をされるので、事業所から「これからも継続して仕事をして頂きたい」と高い評価を頂く事ができました。訓練が進むにつれ、本人の「もっと働きたい」という気持ちが強くなり、事業所と相談しながら少しずつ時間を延長し、作業内容も少しずつ試しながら増やしていきました。3か月の訓練を終え、本人の就労したいという希望を事業所にご理解をいただき、そのまま採用されました。

現在の様子　働きがいのある職場で生きがいを感じる

現在は週５回、１日４時間の就労をされています。仕事の内容は、デイサービスの浴室清掃、脱衣室の整頓、手洗い清掃、ゴミ出し、廊下、階段、エレベータの清掃、洗濯干しと畳み、フロアのモップ掛けと忙しい毎日ですが、働きがいのある職場で、働く事を通して生きがいを感じられ、活き活きとお仕事をされています。ご自宅での介護も、ご家族に支えられながら行われています。

担当者所感

本人に合わせた仕事の切り出しにより柔軟な働き方が可能となります

彼は要介護状態の家族を自宅にて介護しており、働きたくても働く時間に制約がある事。自分が働くことで介護が疎かになるのではないかという不安。ブランクが空いてしまった事への不安。そんな想いの中で悩まれていました。

本人の事情を考慮し、本人に合わせた仕事を切り出していただけた事で現在の様に就労をする事ができました。このケースの様に、柔軟な働き方を必要とする方々にとって、就労訓練の「仕事の切り出し」という面は、とても有意義なものになるのではないかと感じています。

就労支援推進員　麻生　依里

事例
05

働きやすく、アットホームな居心地の良い職場を

協力企業様の声

働く体験をしたい方の背景は様々ありますが、「現状から変わりたい！」という前向きな意識の方が多く、その想いに少しだけでも役立てばと思っております。弊社の仕事内容には単純な作業も多くあり、誰でも気軽に体験することができます。体験する中で自らが活躍できる場所を見つけられると良いと思い積極的に受入れをさせていただいています。

就業先

太陽電化工業株式会社

事業内容：自動車部品を主体とした電気めっき加工
ご採用担当者：常務取締役 伊藤卓様

1949年からものづくりの中でも基盤産業になる電気めっき業に従事しています。昔から３Kの代表格と言われ嫌われやすい仕事ですが、だからこそ社会に対して必要とされる企業を目指しています。特に働きやすい環境を整えること、人を大切にすることが大事と捉えながら経営をしております。

採用担当：伊藤卓様

センターとの関わり

３年程前に名古屋市が取り組みを始めた「中間的就労支援」というものを知り、就労体験や就労訓練の受け入れをするようになりました。就職に繋がる可能性も大いにありますし、新しい人が来ることによって社員も刺激を受けられますので、会社としても大きなメリットを感じています。

以前受入れた２名の若手の男性は、現在はめっきの国家資格やフォークリフト免許や第一種衛生管理者資格を取得し、大活躍する人財になってきています。これからもっと色々なことを任されていく社員になっていくと思います。

受入れ側のちょっとしたフォローによって就労出来ていなかった方がそこまで成長していく姿を見ることができるのはとても嬉しく思っています。人員によっては就職を目指した体験などの受け入れは出来なくなってしまいますが、１名でも多くの方に体験して頂ければと思っております。

こつこつと仕事を始めることで自信回復につながる

就労体験経験者１（40 代男性）

　就労経験はあるものの、体調を崩して離職以来１年無職状態が続いている40代後半の男性。スピードやノルマの要求に応えられず、すっかり自信を失っていました。こつこつと作業することを得意としており、もくもくと部品を治具にひっかける作業を体験しています。職員のみなさんの温かいご指導もあり、しっかり作業することができ、できればこのまま就労したいと思えるところまで自信を回復することができました。

短時間労働から就労意欲の回復

就労体験経験者２（40 代女性）

　精神科に通いながら就労をめざす40代前半の女性。体調に留意しながら短時間の勤務を目指して少しずつ就労意欲を回復してきました。２時間の体験を受け入れてくださったことからゆっくりと作業を始め、どんどん作業が早くなっていきました。職員のみなさんに支えられ、体験終了日には、この仕事なら週４日５時間働けると思えるようになりました。明るい人柄も受入れていただき、「楽しかった」と心から思える就労体験になりました。

担当者所感

就労体験と協力企業との連携

　就労体験は３～10日間の短い仕事体験をすることによって、なくしている自信を取り戻していく、また働きたいと思ってもらえる体験をしていただくという側面があります。そのため、協力企業が主旨を理解し、長い目で関わる支援体制が重要となります。

　太陽電化工業の社会貢献意識はとても高く、ひとり一人の特性や適性のほか、配慮が必要な点も丁寧に確認し、本人が少しずつ就労意欲を高めたり、自信をつけたりすることにつながっています。一度に複数の体験依頼することもありました。

　協力企業に、就労体験の理解促進を図ることが必要だと感じています。

就労準備支援員　木股　宗則

名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター金山

生活・仕事・住まい・健康・家計などの
悩みや困りごとはありませんか？
当センターでは相談者の悩みに寄り添い
「一人ひとりに合った」支援を一緒に考えていきます

センターの支援内容

自立相談支援事業	例えば・・・ 「家族のことで悩んでいる」 「困っているがどこに相談していいかわからない」 「仕事を続けられなくなりそう…」	ご相談ください 来所ができない場合は訪問相談も可能です
住居確保給付金	例えば・・・ 「仕事を辞めることになり、家賃が払えない」 「失業中で次の仕事が決まらず家を追い出されるかも」	受給要件を満たす方に一定期間家賃相当額を支給します
家計相談支援事業	例えば・・・ 「収入はあるが、使いすぎて生活費がなくなる」 「多重債務があり、返済で生活が苦しい」 「滞納があるが、どのように払っていけばいいのか」	家計を立て直していけるように支援していきます
就労準備支援事業・就労訓練事業	例えば・・・ 「ずっと引きこもっていて社会に出るのが不安」 「面接がなかなか受からない」 「職場の人間関係がいつもうまくいかない」	生活リズムを整えて、就労に向けた準備や訓練を行っていきます

私たちが担当します

※相談無料・秘密厳守
※金銭の支給・貸付、仕事や住居の直接的な紹介は行っていませんが、解決に向けて一緒に考えていきます
※相談の結果、法的問題の解決が必要な場合などは、弁護士等による専門相談につなぐことがあります

金山センターのご紹介

ビルの外観です。

ビルの入口です。
入って左側にエレベーターがあります。

センターの入口です。

相談コーナーです。

仕事や生活に関する情報コーナーです。

パソコン講座やボランティア活動、
誰でも参加できる「くらさぽサロン」を開催しています。

【住　所】
〒456-0018
名古屋市熱田区新尾頭 2-2-7 富春ビル４Ｆ
【開所日】
月～金・第４土曜日（祝日・年末年始除く）
【開所時間】
９時～17 時（金曜日は 20 時まで）
【電　話】０５２－６８４－８１３１
【ＦＡＸ】０５２－６８４－８１３２
【メール】kanayama@support-nagoya.jp
【Ｈ　Ｐ】http://support-nagoya.jp/

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください
※名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター金山は、名古屋市が設置し、
名古屋くらしサポートコンソーシアム（構成団体：(福)名古屋市社会福祉協議会・(福)芳龍福祉会・(特非)ICDS）が運営しています。

就労準備支援事業・認定就労訓練事業
事例集

寄り添う、くらサポ

名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター金山